

環境問題 都市レベルの省エネルギーと 二酸化炭素削減のベスト・プラクティスについて考える 2/17「CGP-SSRC ポリシーフォーラム」公開シンポジウム

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)日米センター(CGJ)は、2月17日に環境と気候変動に関する公開シンポジウム「環境と気候変動:都市レベルの省エネルギーと二酸化炭素排出抑制のベスト・プラクティスとは」を、フェローシップを共同運営する米国社会科学研究評議会(SSRC)と共催で開催します。このシンポジウムでは都市あるいは地方自治体の枠組みにおける省エネルギーと二酸化炭素排出削減のためには何がベストプラクティスなのかを考え、主として地方自治体に向けた環境政策提言を目指すものです。このシンポジウムの準備段階として、日米を中心とした環境政策・気候変動の専門家によるワークショップ「ポリシーフォーラム」を3年間にわたって実施し、それぞれの研究を実際の政策現場に資する内容に昇華すべく、議論を重ねてきました。シンポジウム当日は「建築物」「交通」「土地利用計画」「産業エネルギー・マネジメント」「ゴミ処理」の5つのケース・スタディーについての研究成果の報告の他、北東アジア地域の都市の気候変動政策に関するデータベースの紹介も予定しています。

※同シンポジウムは「安倍フェローシップ・プログラム」の一環です。「安倍フェローシップ・プログラム」とは、個人の調査研究プロジェクトに対する奨学金プログラムで、現代の地球的な政策課題で、緊要な取組の必要とされる問題に関する学際的、国際的な調査研究の増進、また長期的に政策指向的研究に従事する研究者の育成を目指しています。

【開催日時・場所】

2月17日(金) 13:30~17:30

国際文化会館岩崎彌太記念ホール (東京都港区六本木 5-11-16)

【報告者】

「建築物」 ロバート・ナップ(エバー・グリーン大学物理学・持続可能デザイン担当教授)

高口 洋人(早稲田大学創造理工学部建築学科教授)

「交通」 アラン・ミラー(IFC 気候ビジネスグループ・主席気候変動スペシャリスト)

「土地利用計画」 村山 顕人(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)

「産業エネルギー・マネジメント」 山本 芳華(摂南大学大学院経営情報学研究科准教授)

「ゴミ処理」 渡辺 公平(帝京大学社会学科准教授)

「データベース」 ミランダ・シュラーズ(ベルリン自由大学環境政策研究センター教授)

【討論者】

有村 俊秀(上智大学経済学部教授)

シヨバカル・ダカール(国立環境研究所グローバル・カーボン・プロジェクト エグゼクティブ・ディレクター)

【主催】 国際交流基金日米センター(CGJ) ・ 米国社会科学研究評議会(SSRC)

お問い合わせ: 国際交流基金日米センター 担当: 松尾

電話 03 - 5369 - 6072 FAX: 03 - 5369 - 6042 E-mail: HirotaKa_Matsuo@jpf.go.jp

国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

www.jpf.go.jp